

2019年11月26日

放送受信契約の未契約世帯に対する民事訴訟について

本日、北海道の未契約世帯11件について、放送受信契約の締結と受信料の支払いを求める民事訴訟を、管轄する簡易裁判所に提起しました。

NHKでは、テレビ受信機を設置しているにもかかわらず、放送受信契約を結んでいただけない世帯や事業所に対し、公共放送の役割や受信料制度の意義などについて誠心誠意説明を行っていますが、それでもなおご契約いただけない場合、受信料の公平負担を徹底するため、放送受信契約の締結と受信料の支払いを求める民事訴訟を提起することとしています。

2019年11月7日、これ以上対応を重ねても契約していただくことが困難と判断した北海道の未契約世帯13件について、民事訴訟を提起せざるを得ない旨の予告通知を発送していましたが、このうち11件について、どうしても契約に応じていただけないため、最後の手段としてやむを得ず、民事訴訟の提起に至りました。

これまでの未契約世帯に対する民事訴訟

未契約世帯については、これまでに40都道府県（北海道、青森県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

で423件の民事訴訟の提起を行っています。このうち、209件については受信契約の締結と受信料の支払いに応じていただいたことなどから、訴えの取り下げ等を行いました。また、102件については契約の締結と受信料の支払いに応じていただく和解となりました。99件については、いずれもNHKの請求を認める判決が確定しています。残る13件は、現在係争中です。